

(3) 収益見通し

今回の収益計画において前提となった諸条件が変動した場合の収益変動(業務純益)につきましては、以下の通りであります。

(図表 11)収益見通し(業務純益(三井住友銀行))

(億円)

	15/3 月期 実績	16/3 月期 計画	17/3 月期 計画	18/3 月期 計画	19/3 月期 計画
基準シナリオ(A)	11,136	10,000	10,000	10,800	12,100

< 主要前提条件 >

(%)

	15/3 月期 実績	16/3 月期 計画	17/3 月期 計画	18/3 月期 計画	19/3 月期 計画
実質 GDP	1.6	0.6	0.9	1.3	1.5
T I B O R 3 M	0.09	0.10	0.30	0.50	0.70
10年国債	1.1	1.0	1.3	1.5	1.7

< 基準シナリオに対する変動見通し >

(億円)

	15/3 月期 実績	16/3 月期 計画	17/3 月期 計画	18/3 月期 計画	19/3 月期 計画
楽観シナリオ(B)	n.a.	10,300	10,500	11,500	13,000
変化額(B) - (A)	n.a.	+ 300	+ 500	+ 700	+ 900
悲観シナリオ(C)	n.a.	9,700	9,500	10,100	11,200
変化額(C) - (A)	n.a.	300	500	700	900

[楽観シナリオ]

民需主導の早期景気回復が実現、緩やかながら基準シナリオを上回るペースの経済成長を達成

資金需要の拡大により、個人、法人とも新規貸出が計画を超過達成

企業業績の一段の改善、資金需要の拡大によりリスクに見合った貸出利鞘の適正化が進展

流動性預金の利鞘収益が拡大

[悲観シナリオ]

デフレによる景気低迷が長期化、経済成長は基準シナリオを下回るペースの緩やかな回復に止まる

資金需要の減衰により、個人、法人とも新規貸出が計画を未達成

企業業績の低迷、資金需要の減衰によりリスクに見合った貸出利鞘の適正化が遅延

流動性預金の利鞘収益が縮小